

議員活動の目標（公約）

飯豊町議会議員の評価

この「議員活動の目標（公約）」は、1年間の議員活動の指標とし、「議員の自己評価」の基礎資料に活用する。

評価期間：平成27年 8月～平成29年 7月

目標期間：平成27年8月～平成28年7月

所属委員会・役職名	在職年数	氏名	年齢
総務文教常任副委員長・監査委員 産業厚生常任委員会・議会運営副委員長	18	菅野 富士雄	63

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

項目	具体的な目標項目	評価		評価の結果となった具体的な理由
		取組み評価	結果の評価	
1. 行政分野の取り組み	町民の皆さまより信頼のいただける、町民目線に沿った政策を提言してきます。”創生”とは、そこに暮らす人々の考え、思いととらえています。	○	△	住民からいただいた意見を一般質問のかたちで提言し、事業実施に結びついた。ただ時間はなかった。
	自主財源の少ない本町にとって、地方交付税等が生命線であります。国・県との良好な関係に努めていきます。限りある予算の執行状況も注視していきます。	△	△	議員・議会活動のなかで、県・国に支援の要請をした。予算の執行状況確認への踏み込みは足りなかったと思う。
3. 経済分野の取り組み	住み続けるには働く場が必要。農業分野を中心としながらも、山形大学関連での町おこしを期待しながら支援していきます。今ある企業へ訪問させていただきながら、現場の声を聞いて施策の充実に努めていきます。	○	▲	企業訪問を委員会活動で行った。雇用の創出には今後、つながるだろう。農業の分野（特に稲作）では、30年問題をかかえており、畜産部門も含めて、整備を急ぐ必要がある。
	介護施設の整備は進みましたが、保険料の負担が大きく、適正なものになるよう国・県への働きかけが必要と考えています。	△	▲	介護保険料の負担が大きい。（県内2位）収支的に保険基盤は安定してきたが、今後、被保険者の理解を得られるようにすべきである。
5. 教育分野の取り組み	幼児教育・小学校・中学校が連携できる教育も必要です。教育施設の再編成については、地元住民の声、特に保護者の方々の声を反映させていくべきと思っています。	○	△	認定こども園の設置や学童クラブの充実と環境整備は進んだ。ただ利用者の負担増（通園・利用料）にならなように配慮すべき。施設の統合については、基本事項を念頭に、時間をかけて、整備すべきである。
	監査委員の立場からも、しっかりチェックし、意見を申し上げます。	△	▲	議選の監査委員には、役割分担の部分で評価が、低いと思っている。小規模な自治体では、経費面から監査法人や会計士等に監査を頼みにくいと思う。選任を受けて、研修や実質審査のなかで結果をだしていきたい。自分自身の課題も多い。
6. その他の取り組み				